



3月の大震災で被害に合われた皆様に心よりお見舞い申し上げます。いよいよ平成23年度が始まりました。大震災の影響に負けずに出来る限り活動を行っていきたくと思います。昨年度の事業につきまして、後半を中心にご報告します。

## 筑波山環境教育インストラクター養成事業

活動場所: 筑波山・ゆかりの森・筑波ふれあいの里

筑波山が環境教育の拠点になることを目指し、現地や事前学習で使える教材・展示パネルの作成に、茨城県自然博物館の協力を得て取り組みました。作成した教材を活用して、筑波山自然インストラクターの登録メンバー22名とともに、学校モデルガイド、筑波山自然展、自然入門ガイドツアーなどを実施しました。また、新たな人材獲得のための筑波山自然インストラクターの養成講座、インストラクターへのステップアップ研修会などを行いました。(地球環境基金助成事業)

### ・筑波山自然インストラクター養成講座

8回の講座を実施、10月の筑波山自然展で実習を行いました。今年度は17名が受講、14名が講座を修了しました。参加者数のべ122名。

### ・ステップアップ研修

昨年度のインストラクター養成講座の受講生を対象に5回実施。7、10、12月は、会員等にも呼びかけて公開講座として行いました。参加者のべ132名。



インストラクター養成講座



ステップアップ研修

### ・筑波山の自然展

ケーブルカー山頂駅2階の休憩所を会場として10/5～11の7日間つくば市との共催で開催しました。筑波山の自然解説パネル13枚、博物館から借用した筑波山の岩石・動物・昆虫の標本、筑波山ブナ毎木調査とその結果についてなどを展示しました。博物館企画展「筑波山～ガマと岩とブナと～」とも連携し、ポスター展示やチラシ配布もおこないました。のべ934人の来場があり、インストラクターのべ39人が参加して、展示解説や筑波山クイズ(650名参加)、筑波山自然入門ガイド(41名参加)などを実施しました



自然展の様子



受付



筑波山自然入門ガイド



ようこそ筑波山自然展へ

筑波山登山を実施する小中学校向けの「筑波山自然学習プログラム実施モデル事業」を7回実施。昨年度の講座を通して育成された「筑波山自然インストラクター」が、子どもたちのガイドを行ないました。

参加者のべ493名



貴重なブナ林の解説

## 筑波山ファンクラブ

活動場所: 筑波山・加波山・宝篋山

12/12に実施した不動峠から蚕影山神社観察会では、地元の有志で復活した道を歩きました。菅生沼の貴重な植生を守るために自然博物館が毎年行っている野焼きに今年も協力しました。22年度は9回の観察会や調査を実施し、のべ132名の参加がありました。



不動峠からの道で観察



ミヤマシキミ



菅生沼の野焼き

## 筑波山麓自然学校

活動場所: 筑波ふれあいの里(つくば市委託事業)

平成22年度後半は、11/20「落ち葉図鑑をつくろう」、12/4「焚き火とクリスマスクラフト」、1/29「お花炭づくりと竹ご飯」、2/20「100キロのみそづくり」、3/6「水車のそばひき・そばうち」を実施いたしました(3/19「食べられる野草を探そう」は震災のため中止)。年間を通して10回の講座を実施し、のべ382名の参加がありました。



素敵なクリスマスクラフトが出来ました!



お花炭 素敵でしょ!



子どもたちと味噌づくり



親子でそばを打ちました

**ter** 筑波山麓谷津田再生事業 活動場所:つくば市神郡【エコーいばらき環境基金助成】

「生きものと共存する米づくり」には年間のべ 475 名の参加がありました。米づくりボランティア 37 名は作業日に草取りやイノシシ柵設置等、汗を流しました。苦勞の甲斐あって無農薬の美味しいコシヒカリ 1433kg、赤米 35kgを収穫しました。  
今年も冬の間、生きもののために田んぼに水を張っています。



平成 23 年度の米作りに向けて、米糠まき、畦の修繕など、準備を進めています。

**ter** 筑波山麓・森づくり活動 活動場所:つくば市神郡【緑の募金助成】

|        |                          |     |
|--------|--------------------------|-----|
| 9月20日  | 竹林整備                     | 21名 |
| 11月13日 | 雑木林整備                    | 38名 |
| 12月12日 | 竹林整備、竹垣講習                | 41名 |
| 1月8日   | 雑木林伐採、薪作り                | 29名 |
| 2月6日   | 雑木林整備と薪作り                | 41名 |
| 4月16日  | 植樹祭 シイタケ植菌講習会 (3/12から延期) | 42名 |

冬場の森林整備の参加者はのべ212名。里山整備で出た材を有効活用する「つくば薪クラブ」の会員も増えています。植樹祭は震災で延期になりましたが、元気に行ないました。



手入れ作業 薪割り体験、大好評のマッシュマロ焼き 植樹

**ter** 都市農村交流活動 活動場所:つくば市白井



平成 22 年度は、都市と農村を結ぶ地域情報紙「すそみろく」を、年 4 回発行、最新号は 19 号です。また、漆所地区の皆さんと山道「漆所おっこし」の復活、つくば道の花守り隊、長崎からやってきた被爆柿の木の植樹などの活動を地域の皆さんで行いました。

11月6日(土)、7日(日)、今年も秋祭りを行ないました。竹屋台の茶店を出店、ドラム缶窯の焼き芋や竹ベンチの体験製作コーナー、竹のおもちゃ作りなどを行い、竹林整備と材の活用への応援団募集を呼びかけました。



竹屋台の茶店 竹のおもちゃ作り

**ter** オオムラサキの棲む里山づくり 活動場所:つくば市下平塚

良好な里山の指標である国蝶オオムラサキが棲み続けられる雑木林の保全・再生をめざし、第 4 土曜日中心に森づくりボランティアを実施。今年には保健保安林でオオムラサキの成虫、越冬幼虫を観察できました。 ※エコポイント寄付対象事業



ヒノキの間伐 間伐材として利用しました オオムラサキ越冬幼虫調査

**ter** 里山子どもワンダーランド作戦

残された雑木林を子どもたちの活動の場に！小1～中1の子どもたち16名が参加、森の手入れ、隠れ家作りなどの活動を行いました。



きこり体験 カブトムシの棲みかづくり

**ter** しぜんっこくらぶ in ゆかりの森

幼児とお母さんたちが集う自然体験教室。ゆかりの森で生きものと触れ合い、畑の恵みを収穫して食べるプログラムなどを実施しました。水、金の2クラスとも募集 30 組が満員、のべ 1208 名の参加がありました。



さつまいも掘り 竹ご飯づくり

つくば里山楽しみ隊 in 高崎自然の森 (つくば市経済部農業課主催行事)

10/22 秋の森の宝物探し、12/19 森の手入れ体験とクリスマスクラフト作りを実施しました。



サツマイもちゃきんしぼり 森の素材でリース クリスマスクラフト

**ter** その他の事業

「ブナ毎木調査」

委託:茨城県自然博物館・独立行政法人森林総合研究所) 筑波山のブナ全木の戸籍づくりをめざして、3年間で 7302 本のブナに ID タグを付け、位置周囲長・樹高・衰退度の記録をしました。今後のブナ林への温暖化影響をモニタリングする基礎資料となります。



ブナ調査メンバー

生田緑地視察

「筑波山生活環境保全林調査」

(つくば市農業課委託事業) 筑波山麓にかつて整備された環境保全林の現状を調査、保全と活用に向けた計画作りを行いました。398 種の植物を確認、かつての遊歩道の回復可能性を調査、担当職員の方々と川崎市生田緑地等を視察、市民参加の方法等の検討を行いました。

事務局より

7 月から事務局を補助した小澤和子さんに代わり、4 月からは田附和子さんがスタッフとなりました。事務局は田中・永谷・中島・野村・飯田・田附の 6 人で務めます。どうぞよろしく。